

三重県議会

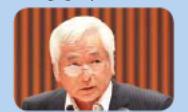
検索

みえ県議会だより

オーフンデータの取り組み

問

吉川 新議員
(新政みえ/度会郡選出)



問 行政情報の^⑥オープンデータ化では、できるだけ幅広いデータを、使う人が活用しやすい形式で公開することが重要です。また、行政サービスを維持するためにも、外部の力を誘発するオープンデータ利用の活性化を図ることが今後の課題だと思います。そこで、現在の取り組みの進捗や県内市町への働きかけの状況についてお伺いします。

答 県においては、平成27年2月から「三重県オープンデータライブラリ」を開設しました。保有データのオープン化を優先して公開していますので、今後は活用しやすいデータ形式での提供に向けて努力していくきます。市町に対しては、県の取組状況等の情報共有を行うなど、今後も支援をしていきます。



オープンデータ ロゴマーク

伊勢二見鳥羽ラインの無料化を

中嶋年規議員
(自民党／志摩市選出)



問 伊勢志摩サミット開催による観光地としての総合的な魅力アップ、地方創生を進める地域振興の観点、伊勢市を中心とする定住自立圏構想の推進など、伊勢志摩地域の全体最適な視点から、伊勢二見鳥羽ラインの無料化と県営サンアリーナ仮設インターの常時開放を全国菓子大博覽会が開催される平成29年4月までに前倒しをするべきだと考えますがいかがでしょうか。

答 政策集にある平成32年度よりもさらに前倒しして無料化することと併せて仮設インターを常時開放することについては、伊勢市、鳥羽市、志摩市など地域の声を十分に聴いたうえで、地域振興や観光振興の観点も踏まえ、菓子博を一つの目安として前向きに検討したいと考えています。



伊勢二見鳥羽二

被災地における多数の傷害者の受け入れ体制の整備を

問 大地震が発生すると多くの傷病者が発生します

廣 耕太郎 議員



大地震が発生すると多くの傷病者が発生しますが、被災地では傷病者が集まってしまうのではないかと考えます。そこで災害のときに多数の患者を受け入れて、病院の廊下や待合室でも治療ができるような体制や設備を整えることが、内すべての災害拠点病院でできなかっただけで、意見をお聞かせください。



精神障がい者アウトリーチ事業の拡大を

問 精神障かい者アウト
リーチ推進事業は、受診

津田 健兒 議
(自民党 / 四日市市選出)



問 リーチ推進事業は、受診中断者や自らの意志では受診が困難な精神障がい者等に対し、保健、医療と生活の支援を包括的に提供し、患者の地域生活の定着につなげていく大変意義ある事業と考えますが、三重県でこのサービスを受けられるのは鈴鹿市と亀山市だけです。このようないくつかの問題について、県の認識と今後の対応、方向性についてお聞きします。



文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。

○高齢者対策について ほか

○ 伊勢志摩サミット ほか

○被災地の犯罪防止

○県の教育方針について